

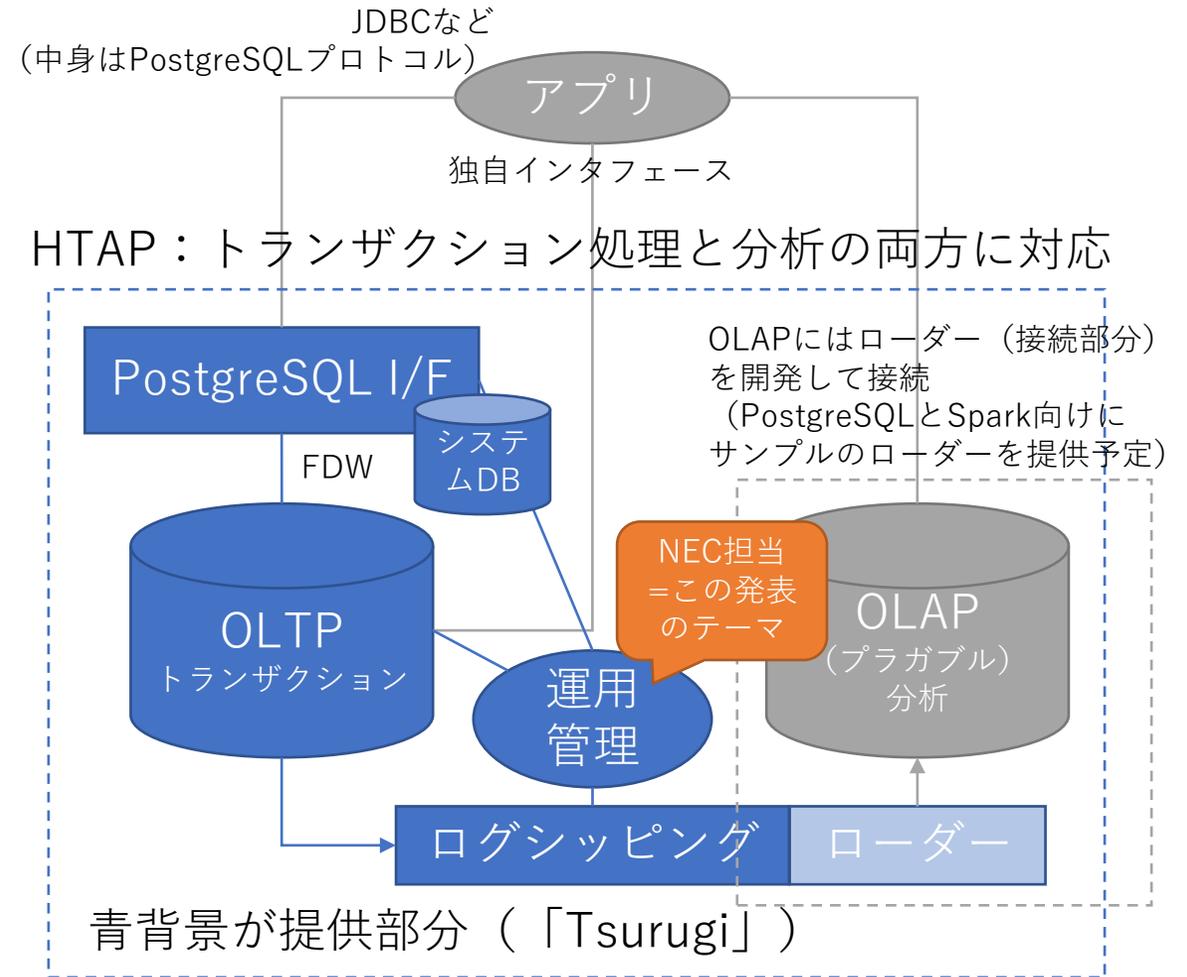
Project Tsurugiユーザー会  
次世代データベースの運用 &  
リリース計画のご紹介

NEC 並木

2021年10月11日

# 全体像

- 最新のハードウェアに最適な設計を行い、トランザクション処理を超高速かつserializableに実現
  - 詳細はノーチラス・テクノロジーズのセッションにて
- 整合性のある断面を高頻度にOLAPへ反映可能（リリース時期調整中）
  - 詳細は東京工業大学のセッションにて



# 運用 (1)

- 基本的にPostgreSQL I/FからPostgreSQLの流儀でできるようにする
  - データベース定義
    - CREATE TABLE文など（各種データ型の対応内容などはTsurugiの仕様による）
  - ユーザー・権限管理
    - ロール、表レベルのアクセス制御
  - ロードー

# 運用 (2) 可用性

- レプリケーション
  - 方式検討中
  - コールドスタンバイはプロジェクト期間に実現を計画
  - フェイルオーバーの制御はSIで対応
  - ホットスタンバイも構成 (SIで組み上げ) できるように検討中
- バックアップ
  - オフラインでのフルバックアップへの対応はプロジェクト期間内に計画
  - 今後検討：オンラインバックアップ、差分バックアップ、スキーマのバックアップ

## 運用（2）（提供時期調整中）

- 既存のツールとの連携にむけて検討中
- 統計情報
  - pg\_statsinfoへの対応
- 監視
  - Zabbixから監視ができるようにする

# リリース計画

- プロジェクト完了（2023年度末）までにオープンソースで提供を開始、順次拡張予定
  - Linux向け
  - コンテナイメージなども提供を予定
  - OLAPとの連携はSI対応
- 商用サポートの計画あり

